

小型無線デジタル入出力ユニット

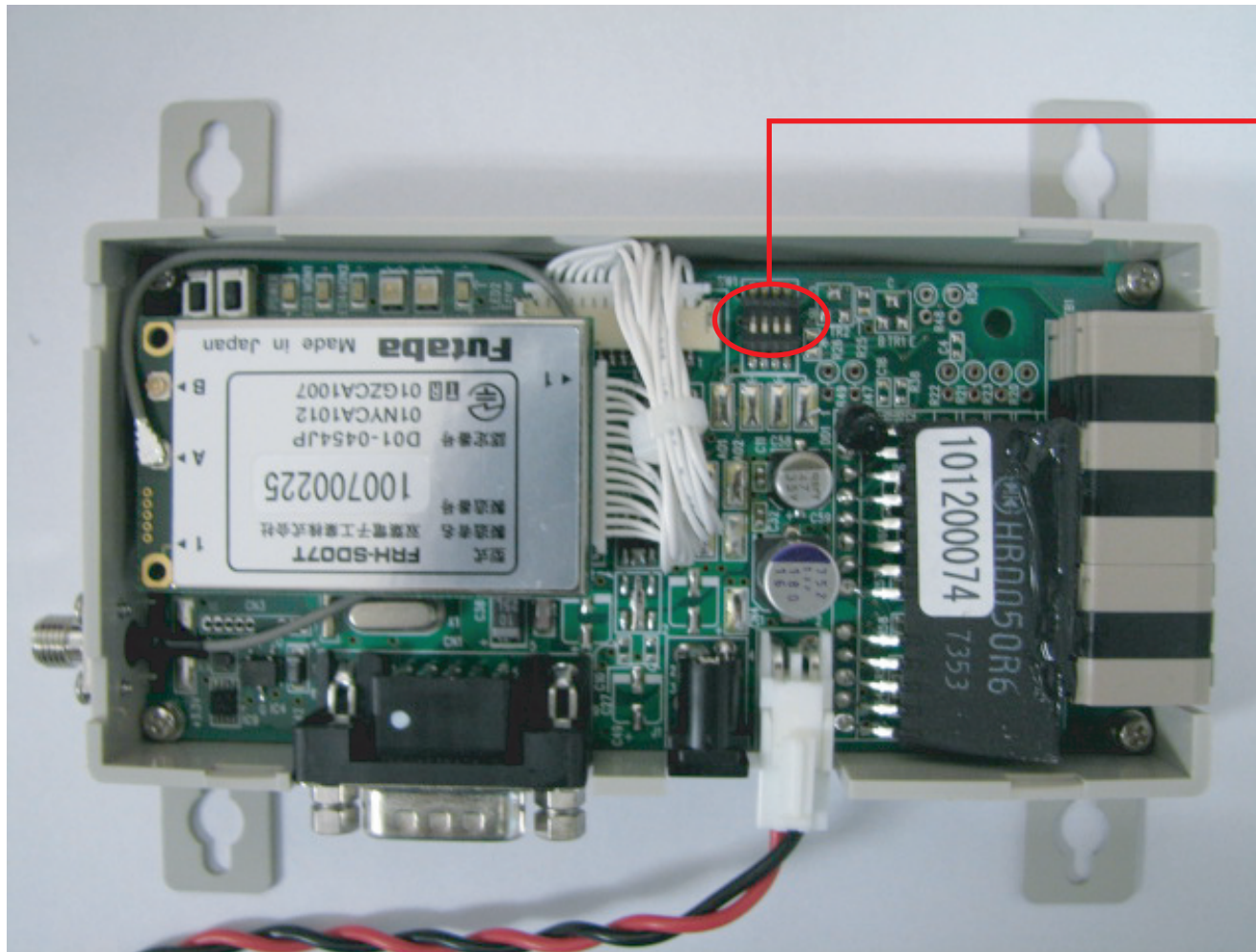
ARN-60530簡易設定説明書



■ARN-60530簡易設定説明

まず初めにARN-60530を動作させるためには各種設定項目をスイッチによって設定する必要があります。

ARN-60530の上フタを外して上から見た写真



SW1

SW1-1, 1-2
周波数バンド設定

SW1-3
マスター・スレーブ設定

SW1-4
スイッチ設定有効orPC設定有効

■ARN-60530簡易設定説明

1対1ディップスイッチ設定有効の場合

各スイッチの説明

SW1 各種設定

SW1-1, 1-2

周波数バンド設定

ディップSW1	ディップSW2	周波数バンド	周波数(MHz)
OFF	OFF	0	2402. 0
ON	OFF	1	2426. 0
OFF	ON	2	2450. 0
ON	ON	3	2472. 0

SW1-3

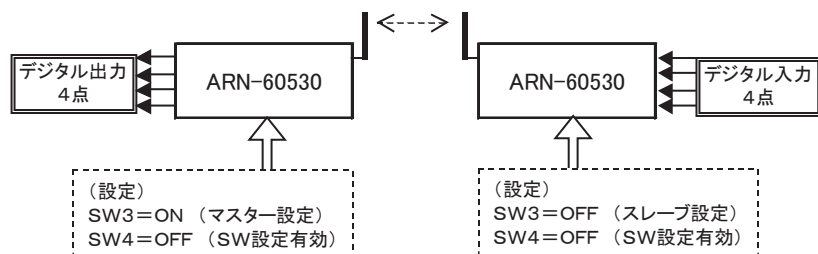
マスター/スレーブ設定

一方の無線機をマスターに設定した場合、もう一方はスレーブにする必要があります。

“ON”→マスター

“OFF”→スレーブ

スイッチ設定有効の場合、接点信号の入出力は
マスター→出力、スレーブ→入力となります。



SW1-4

スイッチ設定有効orPC設定有効

スイッチ設定有効→OFF

PC設定有効→ON

※PC設定有効の場合はスイッチの設定は反映されません。

1対1or1対N PC設定有効の場合(ソフトウェア起動)

①弊社HPから60530設定ソフトをダウンロードしてPCにインストールします。

②ARN-60530をRS-232CクロスケーブルでPCと接続します。

③ARN-60530の電源をON後設定ソフトウェアを起動させて下さい。

60530設定ソフトウェア画面

④ソフトウェアの“接続”を押すとARN-60530と接続され設定が可能になります。

※接続できない場合はCOMポートを確認して下さい

■ARN-60530簡易設定説明

1対1or1対N PC設定有効の場合(設定)

60530設定ソフトウェア画面

※設定項目が決まりましたら“一括設定”を押して下さい。
表示されている項目がARN-60530に反映されます。

※設定が終わったらARN-60530の電源をリセットして下さい。

※ディップスイッチ1-4をONにして下さい。
OFFのままですとソフトウェアで設定した項目が反映されません。

- ①周波数設定
バンドとチャンネルの組合せで周波数を変更できます。
- ②I/Oポート設定
I/01～4の入力・出力の切替が個別にできます。
- ③ポート出力論理
出力時の論理を変更できます。通常は正論理となります。
- ④動作モード
各動作モードを設定できます。(動作モード詳細は取扱説明書をご確認下さい)
- ⑤機種設定
マスター・スレーブ・リピーター(中継機)の設定です。
- ⑥自己ID
スレーブ設定時の自己IDを設定する項目です。
- ⑦子機台数
マスター設定時に接続する子機の台数を設定します。
- ⑧中継機経由
中継機ありorなしの設定です。
- ⑨通信断時間
無線通信切断後、エラー表示を開始するまでの時間を設定します。
- ⑩アンテナ
アンテナを1本使用する場合は“シングル”
2本の場合は“ダイバーシティ”に設定して下さい。
- ⑪ポーリング間隔
マスター設定時、スレーブへのデータ要求間隔を設定します。
- ⑫ポート出力状態
無線通信切断時、出力ポートの状態を選択します。
- ⑬受信データ出力
無線受信したデータをRS-232C出力する場合、
“RS-232C出力する”を選択します。